

セグメント情報／損益の状況

Kirayaka Bank

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に行う対象となっているものであります。

当行グループは、主として国内において、当行が行う銀行業務を中心に、連結子会社等においてリース業務、クレジットカード業務、コンサルティング業務及びベンチャーキャピタル業務並びに事務受託業務等を行っております。

当行グループは、「銀行業」を報告セグメントに、リース業務は「リース業」を報告セグメントとしております。また、連結子会社等が行うクレジットカード業務、コンサルティング業務及びベンチャーキャピタル業務並びに事務受託業務等は、その金額の全体に対する重要性を考慮し「その他」に含めております。「銀行業」は主に預金業務、貸出業務、為替業務、有価証券投資業務等を行っており、「リース業」は、主に機械・器具備品等のリース取引を行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は経常利益であります。また、セグメント間の内部経常収益は、第三者取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

	2018年9月期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)						中間連結 財務諸表 計上額
	報告セグメント			その他	合計	調整額	
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	10,230	2,874	13,105	337	13,442	0	13,442
セグメント間の内部経常収益	462	28	490	248	738	△ 738	—
計	10,692	2,903	13,595	585	14,181	△ 738	13,443
セグメント利益	1,328	102	1,430	52	1,483	△ 440	1,042
セグメント資産	1,417,852	16,074	1,433,926	50,510	1,484,437	△ 54,914	1,429,523
セグメント負債	1,352,703	11,555	1,364,259	48,819	1,413,079	△ 51,015	1,362,063
その他の項目							
減価償却費	676	8	685	11	696	—	696
資金運用収益	8,140	0	8,140	70	8,210	△ 430	7,780
資金調達費用	200	55	255	3	259	△ 13	245
持分法投資利益	—	—	—	5	5	—	5
持分法適用会社への投資額	—	—	—	117	117	—	117
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	81	0	82	3	86	—	86

(注) 1. 一般企業の売上高、受取利息、支払利息に代えて、それぞれ経常収益、資金運用収益、資金調達費用を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業及び事務受託業務等を含んでおります。

3. 調整額は以下のとおりです。

- (1) 外部顧客に対する経常収益の調整額0百万円は、「銀行業」及び「その他」の貸倒引当金戻入額の調整です。
 - (2) セグメント利益の調整額△440百万円は、セグメント間消去△416百万円及びのれんの償却△24百万円等です。
 - (3) セグメント資産の調整額△54,914百万円は、セグメント間消去△55,034百万円及びのれんの未償却残高120百万円です。
 - (4) セグメント負債の調整額△51,015百万円は、セグメント間消去です。
 - (5) 資金運用収益の調整額△430百万円は、セグメント間消去です。
 - (6) 資金調達費用の調整額△13百万円は、セグメント間消去です。
4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(単位：百万円)

	2019年9月期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)						
	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	9,142	3,035	12,177	312	12,490	△ 47	12,442
セグメント間の内部経常収益	281	28	309	242	551	△ 551	—
計	9,423	3,064	12,487	554	13,042	△ 599	12,442
セグメント利益	572	165	737	20	757	△ 259	498
セグメント資産	1,373,823	18,085	1,391,908	45,357	1,437,266	△ 51,876	1,385,390
セグメント負債	1,310,173	12,171	1,322,345	43,920	1,366,265	△ 47,930	1,318,335
その他の項目							
減価償却費	630	3	634	11	645	—	645
資金運用収益	7,363	0	7,363	60	7,424	△ 249	7,174
資金調達費用	122	46	168	3	172	△ 14	157
持分法投資利益	—	—	—	9	9	—	9
持分法適用会社への投資額	—	—	—	123	123	—	123
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	127	11	139	4	143	—	143

(注) 1. 一般企業の売上高、受取利息、支払利息に代えて、それぞれ経常収益、資金運用収益、資金調達費用を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業及び事務受託業務等を含んでおります。

3. 調整額は以下のとおりです。

- (1) 外部顧客に対する経常収益の調整額△47百万円は、「銀行業」及び「その他」の貸倒引当金戻入額の調整です。
 - (2) セグメント利益の調整額△259百万円は、セグメント間消去△235百万円及びのれんの償却△24百万円等です。
 - (3) セグメント資産の調整額△51,876百万円は、セグメント間消去△51,948百万円及びのれんの未償却残高72百万円です。
 - (4) セグメント負債の調整額△47,930百万円は、セグメント間消去です。
 - (5) 資金運用収益の調整額△249百万円は、セグメント間消去です。
 - (6) 資金調達費用の調整額△14百万円は、セグメント間消去です。
4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

国内・国際業務部門別粗利益

(単位：百万円)

	2018年9月期			2019年9月期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用収支	7,916	22	7,939	7,223	18	7,241
資金運用収益	8,117	24	8,140	7,345	19	7,363
資金調達費用	200	1	200	122	1	122
役員取引等収支	549	1	551	648	0	649
役員取引等収益	1,390	2	1,393	1,481	0	1,482
役員取引等費用	840	1	842	832	0	833
その他業務収支	153	307	460	150	0	150
その他業務収益	477	307	785	740	0	740
その他業務費用	324	—	324	589	—	589
業務粗利益	8,619	331	8,951	8,022	18	8,040
業務粗利益率	1.29%	9.67%	1.34%	1.23%	0.41%	1.23%

(注) 1. 国内業務部門は国内店の円建取引、国際業務部門は国内店の外貨建取引でございます。なお、当行は、特定取引勘定非設置行であるため、特定取引収支は該当ございません。

2. 資金運用収益及び資金調達費用の合計欄の上段の計数は、国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の利息でございます。

3. 業務粗利益率=業務粗利益/資金運用額平均残高×100×365/183

業務純益

(単位：百万円)

	2018年9月期	2019年9月期
業務純益	1,615	1,082
実質業務純益	1,615	1,231
コア業務純益	1,456	1,131
コア業務純益(投資信託解約損益を除く。)	1,017	958

業務純益

1. 業務純益=業務収益－(業務費用－金銭の信託運用見合費用)
業務収益=資金運用収益+役員取引等収益+その他業務収益
業務費用=資金調達費用+役員取引等費用+その他業務費用+一般貸倒引当金繰入額+経費(臨時的経費を除く)
2. 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)
3. コア業務純益=実質業務純益－国債等債券損益

資金運用勘定・調達勘定の平均残高、利息、利回り

1. 国内業務部門

(単位：百万円、%)

	2018年9月期			2019年9月期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定	(6,732)	(1)	1.22	(8,787)	(1)	1.12
うち貸出金	1,323,679	8,117	1.23	1,300,272	7,345	1.20
うち商品有価証券	2	0	0.46	0	0	0.56
うち有価証券	247,833	1,854	1.49	211,057	1,153	1.09
うちコールローン	—	—	—	—	—	—
うち預け金	66,938	32	0.09	65,161	32	0.09
資金調達勘定	1,321,649	200	0.03	1,298,015	122	0.01
うち預金	1,228,595	196	0.03	1,204,168	120	0.01
うち譲渡性預金	52,970	16	0.06	54,624	14	0.05
うちコールマネー	37,622	△ 13	△ 0.06	37,095	△ 13	△ 0.06
うち売渡手形	—	—	—	—	—	—
うち借入金	2,164	—	—	1,830	—	—

(注) 1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高(2018年9月期20,148百万円、2019年9月期15,567百万円)を控除して表示しております。
2. ()内は国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高及び利息(内書き)でございます。

2. 国際業務部門

(単位：百万円、%)

	2018年9月期			2019年9月期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定	6,831	24	0.71	8,881	19	0.43
うち貸出金	—	—	—	—	—	—
うち商品有価証券	—	—	—	—	—	—
うち有価証券	6,567	24	0.74	8,690	19	0.44
うちコールローン	—	—	—	—	—	—
うち預け金	—	—	—	—	—	—
資金調達勘定	(6,732)	(1)	0.05	(8,787)	(1)	0.03
うち預金	6,831	1	0.04	8,881	1	0.04
うち譲渡性預金	96	0	0.04	92	0	0.04
うちコールマネー	—	—	—	—	—	—
うち売渡手形	—	—	—	—	—	—
うち借入金	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高(2018年9月期一百万円、2019年9月期一百万円)を控除して表示しております。
2. ()内は国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高及び利息(内書き)でございます。
3. 国際業務部門の国内店外貸建取引の平均残高は、月次カレント方式(前月末TT仲値を当該月のノンエクスチェンジ取引に適用する方式)により算出しております。

受取・支払利息の分析

1. 国内業務部門

(単位：百万円)

	2018年9月期			2019年9月期		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	△ 170	△ 382	△ 553	△ 143	△ 628	△ 771
うち貸出金	△ 33	△ 218	△ 251	△ 103	△ 162	△ 58
うち商品有価証券	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
うち有価証券	△ 83	△ 199	△ 283	△ 275	△ 425	△ 700
うちコールローン	△ 0	—	△ 0	—	—	—
うち預け金	0	△ 0	△ 0	△ 0	0	△ 0
支払利息	△ 3	△ 99	△ 102	△ 3	△ 75	△ 78
うち預金	△ 12	△ 102	△ 115	△ 3	△ 72	△ 76
うち譲渡性預金	7	6	14	0	△ 2	△ 2
うちコールマネー	△ 0	△ 1	△ 1	0	0	0

(注) 残高及び利率の増減要因が重なる部分については、利率による増減要因に含める方法で算出しております。

2. 国際業務部門

(単位：百万円)

	2018年9月期			2019年9月期		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	△ 59	△ 10	△ 70	7	△ 12	△ 5
うち貸出金	—	—	—	—	—	—
うち商品有価証券	—	—	—	—	—	—
うち有価証券	△ 60	△ 9	△ 69	7	△ 12	△ 5
うちコールローン	—	—	—	—	—	—
うち預け金	—	—	—	—	—	—
支払利息	△ 4	△ 0	△ 5	0	△ 0	△ 0
うち預金	△ 0	0	△ 0	△ 0	0	△ 0
うち譲渡性預金	—	—	—	—	—	—
うちコールマネー	—	—	—	—	—	—

(注) 残高及び利率の増減要因が重なる部分については、利率による増減要因に含める方法で算出しております。

役務取引の状況

(単位：百万円)

	2018年9月期			2019年9月期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
役務取引等収益	1,390	2	1,393	1,481	0	1,482
うち預金・貸出業務	491	—	491	615	—	615
うち為替業務	475	2	477	475	0	475
うち証券関連業務	23	—	23	34	—	34
うち代理業務	27	—	27	19	—	19
うち保護預り・貸金庫業務	12	—	12	11	—	11
うち保証業務	32	—	32	35	—	35
役務取引等費用	840	1	842	832	0	833
うち為替業務	172	1	173	172	0	173

その他業務利益の内訳

(単位：百万円)

	2018年9月期			2019年9月期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
その他業務収益	477	307	785	740	0	740
外国為替売買益	—	1	1	—	0	0
商品有価証券売買益	—	—	—	—	—	—
国債等債券売却益	3	305	309	380	—	380
国債等債券償還益	—	—	—	—	—	—
金融派生商品収益	—	—	—	—	—	—
その他	474	—	474	359	—	359
その他業務費用	324	—	324	589	—	589
外国為替売買損	—	—	—	—	—	—
商品有価証券売買損	0	—	0	0	—	0
国債等債券売却損	—	—	—	—	—	—
国債等債券償還損	150	—	150	280	—	280
国債等債券償却	0	—	0	—	—	—
金融派生商品費用	—	—	—	—	—	—
その他	173	—	173	309	—	309
その他業務利益	153	307	460	150	0	150

営業経費の内訳

(単位：百万円)

	2018年9月期	2019年9月期
給料・手当	2,686	2,449
退職給付費用	323	215
福利厚生費	568	523
減価償却費	674	630
土地建物機械賃借料	283	263
営繕費	12	8
消耗品費	43	47
給水光熱費	75	69
旅費	18	17
通信費	181	120
広告宣伝費	76	56
租税公課	496	471
その他	2,156	2,103
合計	7,598	6,977

(注) 1. 中間損益計算書中「営業経費」の内訳でございます。

2. 退職給付費用には、退職金が含まれております。

3. 福利厚生費、その他については2019年3月期より集計方法を変更しております。集計方法変更前の福利厚生費は、2018年9月期33百万円、2019年9月期28百万円であり、また、集計方法変更前のその他は、2018年9月期2,692百万円、2019年9月期2,598百万円であり、また、